

同訓異字などの語句を正しく書き分けるためには、前後の文の内容をよく読むことが大切です。

身みに付けると...

語句を正しく書き分けることができます。

やってみよう 「解答と解説」

互いの意見がアう。  
 応接室で客とアう。  
 交通事故にアう。

合あう…一致する。  
 会あう…主として人と人が顔を合あわせる。  
 遭あう…事件や自然現象など思おもわぬことことに偶然ごうぜんでくわす。

考えを力ちからえる。  
 服を取り力ちからえる。  
 あいさつに力ちからえる。

変かえる…内容、方法、状態などを違ちがったものにする。  
 替かえる…別の物、新しいものにする。  
 代かえる…かわりにする。代用だいようする。

会社にツトめる。  
 司会しかいをツトめる。  
 完成せいせいにツトめる。

勤しんめる…仕事に従事する。  
 務むめる…役割を受けもつ。  
 努ぬめる…力を尽くしてことに当たる。

合 会 遭  
 変 替 代  
 勤 務 努

法ほのモトの平等。  
 モトの場所ばしょに戻かえる。  
 資料しりょうをモトに説明せつめいする。

下した…何かの下したになる部分。また、影えい響きょうの及およぶ範囲はんい。  
 元もと…ものごとの始はじまりや原因げんいん。また、以前いぜんの状態じょうたい。  
 基もと…ものごとの根幹こんかんや土台どだい。

ア 図ずる…いろいろと試しみる、また、たくらむ。  
 イ 計けいる…数量りょうりやうや時間じかんをはかる。  
 ウ 測そくる…高さ、長さ、深さ、広さをはかる。

ア 収しゆめる…きちんと中ちゆうに入れる。安定あんていさせる。  
 イ 納なめる…そうすべきところところに、ものを入いれる。  
 ウ 修しゆめる…学問がくもん、技芸ぎぎんなどを身みに付ける。

イ 現げんす…姿すがたや本質ほんしつを具体的くわてきに見みせる。  
 イ 表ひょうす…考えや感情かんじを言葉ことばなどで表現ひょうげんする。  
 ウ 著しやくす…書物しよぶつを書き、出版しゅばんすること。

下 元 基

解 答